

中学生の課題図書(2022年)



『セカイを科学せよ!』 安田 夏菜／著



(講談社)

小学生の時の事件をきっかけに、できる限り地味に暮らしていこうと決めた日露のミックスルーツであるミハイル。中学で入った部活は地味で選抜競争などない科学部だが、転校してきた「蟲」好きのミックスルーツ・葉奈が科学部に入ったことで、ミハイルも次第に変わっていく…。

『海を見た日』 M. G. ヘネシー／作 杉田 七重／訳



(鈴木出版)

里親制度で共に生活するナヴェイア、ヴィク、マールの下にやってきたアスペルガー症候群の少年クエンティン。全く口を開かなかった彼がやっと口にした「ママに会いたい」という願いを叶えるため、3人は彼のママを探しに出る。最初はバラバラだった4人が、旅を通じて次第に同じ方向へ歩きはじめ…。



『江戸のジャーナリスト葛飾北斎』 千野 境子／著



(国土社)

代表作『富嶽三十六景』をはじめ、没後170年余経ってなお世界中の人々を魅了し続ける浮世絵師・葛飾北斎。鎖国の世に生まれながら、その好奇心で中国や朝鮮、オランダなど海外の情報を収集した姿はまさしく江戸のジャーナリスト。魅力と謎に満ちた「葛飾北斎」の人物像を徹底追及する一冊。

2021年 『ウィズ・ユー』 濱野 京子／作 (くもん出版)

『アーニャは、きっと来る』 マイケル・モーパーゴ／作

佐藤 見果夢／訳 (評論社)

『牧野富太郎』 清水 洋美／文 里見 和彦／絵

(汐文社)

2020年 『天使のにもつ』 いたう みく／著 丹下 京子／絵 (童心社)

『11番目の取引』 アリッサ・ホリングスワース／作

もりうち すみこ／訳 (鈴木出版)

『平和のバトン』 弓狩 匡純／著 (くもん出版)



高校生の課題図書(2022年)



『その扉をたたく音』 瀬尾 まいこ／著



(集英社)

大学を卒業して無職のまま7年が過ぎ、ミュージシャンになりたいという夢もぼんやりしてしまった宮路は、弾き語りに訪れた老人ホームで介護士・渡部の吹くサクセスに魅了される。彼のサクセスを聴くためにホームに通い始めた宮路は…。

『建築家になりたい君へ』 隈 研吾／著



(河出書房新社)

「10歳で、建築家をめざした僕は、ずっと長距離走者のように走り続けた。人間とモノに興味を持って、しんぼう強く遊び続けよう。」2020年東京オリンピック会場を手掛けたことでも有名な建築家・隈研吾氏の言葉だ。なぜ建築家という仕事を選んだのか、そして今を生きる若者へ伝えたいメッセージとは…。



『クジラの骨と僕らの未来』 中村 玄／著



(理論社)

クジラの研究者である著者は小さな頃から生き物が大好きで、様々な生き物を飼ってきた。解剖や形態に興味を持つきっかけとなった中学校時代の実習を振り返り、クジラの研究の仕事につくことになった経緯や、クジラの調査研究の実態を紹介する。

2021年 『水を縫う』 寺地 はるな／著 (集英社)

『兄の名は、ジェシカ』 ジョン・ボイン／著 原田 勝／訳

(あすなろ書房)

『科学者になりたい君へ』 佐藤 勝彦／著

(河出書房新社)

2020年 『廉太郎ノオト』 谷津 矢車／著 (中央公論新社)

『フラミンゴボーイ』 マイケル・モーパーゴ／作

杉田 七重／訳 (小学館)

『キャバとゲルダ』 マーク・アロンソン／著 マリナ・ブドーズ／著

原田 勝／訳 (あすなろ書房)

